

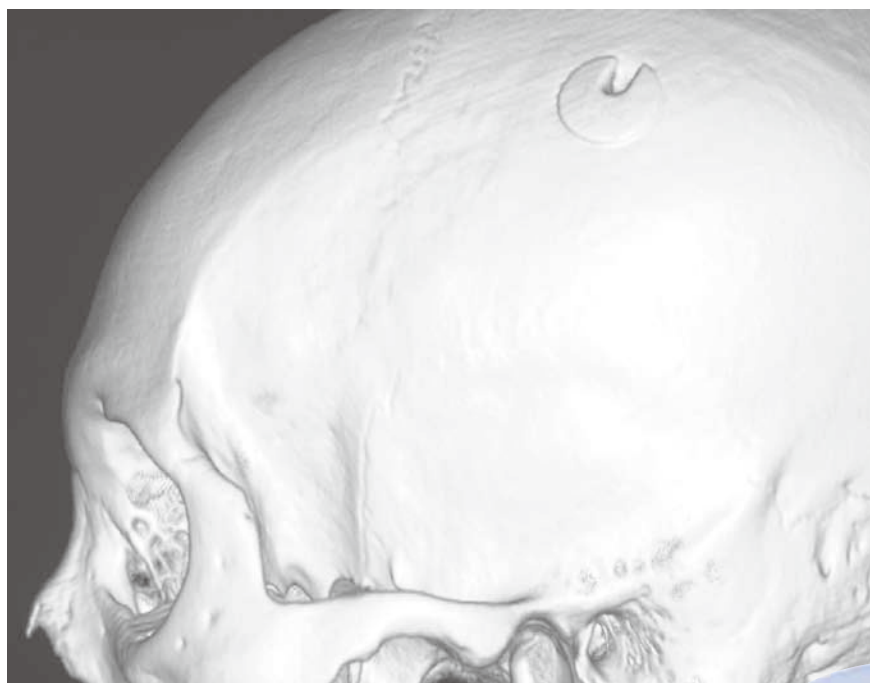
PENTAX

医療用品 4. 整形用品 高度管理医療機器
人工骨インプラント 単回使用

「アパセラムーC」シリーズ

APACERAM[®]

バーホール／キーホールボタン



アパセラム-C1,C4,C5

【禁忌・禁止】

(使用方法)

・再使用禁止

(禁忌症)

・次の疾患がある患者には使用しないこと

(1) 血液疾患(白血病、血友病、敗血症等)

(2) 重症肝機能障害

(3) 重症心腎疾患

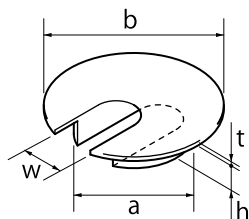
(4) 再発の危険性がある感染性疾患

(5) 長期にわたるステロイド剤、抗血液凝固剤等の使用症例

(6) 本品の補填に耐えない重度の骨粗鬆症または骨軟化症等の骨疾患

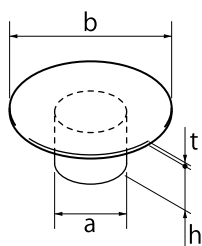
詳細は製品添付文書をご参照ください。

ドレーンタイプ

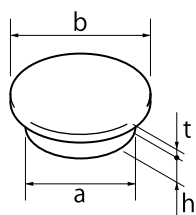


品 番	気孔率 (%)	定形寸法 (mm)					包 装
		a	b	h	t	w	
C1-132-DA-033-08315	0	8	15	3	0.5	5	1個入
C1-132-DA-034-08515		8	15	5	0.5	5	
C1-132-DA-011-10318		10	18	3	0.5	5	
C1-132-DA-000-11318		11	18	3	0.5	5	
C1-132-DA-000-12318		12	18	3	0.5	5	

ボタンタイプ

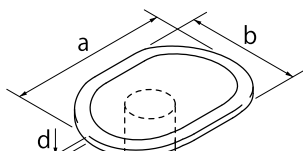


品 番	気孔率 (%)	定形寸法 (mm)				包 装
		a	b	h	t	
C1-023-BA-000-08315	0	8	15	3	0.5	1個入
C1-023-BA-000-08515		8	15	5	0.5	
C1-023-BA-000-08318		8	18	3	0.5	
C1-023-BA-000-11318		11	18	3	0.5	
C1-023-BA-000-12318		12	18	3	0.5	



C5-023-BA-000-08315	45 ~ 60	8	15	3	1	1個入
C5-023-BA-000-08515		8	15	5	1	
C5-023-BA-000-11314		11	14	3	1	
C5-023-BA-000-11318		11	18	3	0.5	
C5-023-BA-000-12315		12	15	3	1	

キーホールボタン



品 番	気孔率 (%)	定形寸法 (mm)					包 装
		a	b	c	d	e	
C4-033-KA-000-2518	27 ~ 45	25	18	5	2	6.5	1個入

症例
1

バーホールボタン使用の有無における術後比較

日野記念病院 脳神経外科 部長 清水 俊樹

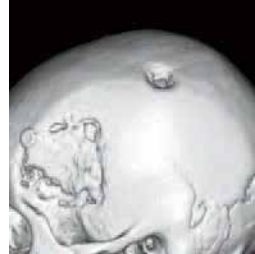
当院では慢性硬膜下血腫の開頭穿孔術後にはスリット付きバーホールボタンを使用している。しかしながらこの度、バーホールボタンを未使用で閉頭したため、慢性頭痛を併発した症例を経験したので使用例と比較し報告する。

バーホール未使用例

患者 81歳 女性

所見

他院にて開頭穿孔術を施行。バーホールボタンを未使用で閉頭したため、術後、皮膚の陥没及びそれに起因すると思われる頭痛を併発。

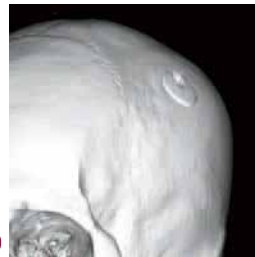


バーホール使用例

患者 78歳 男性

所見

当院にて施行。皮膚の陥没も無く審美性が高い。また、頭蓋骨とバーホールボタンの骨癒合も見られる。



使用ボタン: C1-132-DA-000-11318

結語

慢性硬膜下血腫による開頭穿孔術など、術後にドレナージ用チューブを留置する際、スリット付きバーホールボタンを使用することにより、術後の頭皮の陥没だけでなく、頭痛、局所痛を抑制するなど、非常に有用である。

症例
2

Key hole用burr hole button(キーホールボタン)の美容的有用性

伊那中央病院 脳神経外科 主任医長 小山 淳一

目的

Key hole周辺の頭蓋骨の形状を考慮に入れた蓋部を持つキーホールボタンの美容的有用性を検討する。

方法

前頭側頭開頭においてキーホールボタン使用群(30例) 図1、図2と未使用群(25例) (図3)の術後6ヶ月後のこめかみ部の陥没(図3の青色部分)の最大値(陥没値)をCTで計測しそれぞれを比較した。

結果

こめかみ部の陥没値はキーホールボタン使用群で未使用群に比べて有意に少なかった。(P<0.05)。無症状の未破裂動脈瘤患者などに対し前頭側頭開頭術を施行した際には、術後の美容が最も大きな悩みとなることがあるが、キーホールボタンは美容上有用であると考えられた。

使用ボタン: C4-033-KA-000-2518B-33-2518



図1: キーホールボタン使用中写真

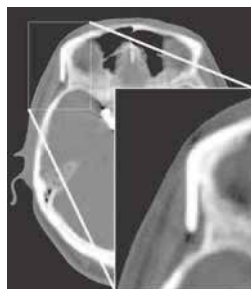


図2: ボタン使用患者のCT

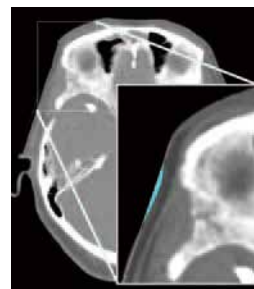


図3: ボタン未使用患者のCT

ボタン使用の有無 陥没値(mm)

ボタン有 -0.39 ± 0.31 ボタン無 -1.62 ± 0.52

P<0.05 *

表1: ボタン有無による陥没の違い

PENTAX

製造販売業者

HOYA Technosurgical 株式会社

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-28-4 YKBエンサインビル
TEL 03-5369-1710 FAX 03-5369-1711

■札幌オフィス 〒060-0007 札幌市中央区北七条西13-9-1 TEL:011-241-3473 FAX:011-241-3472
■仙台オフィス 〒981-3133 仙台市泉区泉中央1-7-1 TEL:022-371-6944 FAX:022-371-8924
■名古屋オフィス 〒461-0001 名古屋市東区泉1-21-27 TEL:052-955-8572 FAX:052-955-8573
■大阪オフィス 〒542-0081 大阪市中央区南船場1-17-9 TEL:06-6263-1679 FAX:06-6263-1686
■福岡オフィス 〒810-0802 福岡市博多区中洲中島町3-8 TEL:092-281-6860 FAX:092-281-6869

URL www.hoyatechnosurgical.co.jp

※仕様、形状は一部変更することもあります。
※掲載の写真・形状図は実物大ではございません。

ご注文先

益子工場

〒321-4292 栃木県芳賀郡益子町大字塙858
TEL 0285-72-6253 FAX 0285-72-6259

医療機器承認番号 22200BZX00569000 アバセラム-C1
医療機器承認番号 22200BZX00570000 アバセラム-C4
医療機器承認番号 22200BZX00571000 アバセラム-C5

販売店